

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、それぞれ新しい年をご家族の皆様方とお迎えになられたこととお慶び申し上げる次第でございます。

先ほど皆さんと黙祷をいたしましたとおり、1日夕刻に発生いたしました能登半島における大地震、そしてその救援にあたられていた海上保安庁の航空機と日本航空の航空機との衝突事故が発生いたしました。お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご家族の皆様にお悔やみを、そして被災をされました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今進んでおります避難者の皆様の生活支援、復旧復興の支援を政府や全国知事会と協力しまして島根県庁としても取り組んでいく考えでございますので皆様方の協力をぜひともよろしくお願いを申し上げます。

昨年5月のコロナ感染症の5類化以降、様々な経済活動、社会活動が従前に復する形となり、経済活動が前々年に比べ堅調に推移しているところでございます。コロナの面におきましては、経済の様々なマイナス要因はかなり解消されましたが、同じく一昨年来から続いておりますエネルギー価格・原材料・諸物価の高騰につきましては、まだまだ高止まりが続いているという状況にあります。県民の皆様の家計・生活、事業者の皆様の上業経営については、大きな制約要因になっているということは引き続いてるわけでありませう。

従いまして、本年におきましては政府の支援を頂きながら様々な諸物価の高騰に何とか道筋が見える一年にしていきたいと思っているところであります。そういった意味で引き続きましての皆様方のご奮闘をお願い申し上げます。

そして、日本全体の出生数が過去最少を更新し、少子化がさらに進んでいるという状況でございます。昨年、政府において少子化対策の抜本的強化ということで様々な政策が決定されましたが、もともと自治体に任せら

れている政策分野については、各地域、各自治体の財政状況に応じて支援水準にばらつきが生じているという状況があり、それが是正されるには至っておりません。

島根県、ならびに島根県内の市町村における子育て支援、子育て世代への支援の強化も考えていかなければならない状況にあります。

本年は私が就任した時点において策定させていただいた島根創生計画の期間の最終年度、5年目にあたる年となります。従いまして、これまでの施策の効果の検証、評価をしながら次期計画の策定を進めていく年度となるわけであります。

全ての職員の皆さんに、全ての事業の再検証をしていただきまして、新たな次の5年、どういったことに取り組んでいくのかということを目線ではなく5年の目線で考えてもらう節目の年にあたります。中長期の視点を持って県政に取り組んでいただくことにつきましても、部長、次長の皆さん方のリーダーシップで円滑に進めていただくようお願いを申し上げる次第でございます。

年初からこんなことがあるのかというようなことが発生いたしました。

能登半島、石川県北部で発生した地震でありますけれども、これが我が身島根県で起きないとは限らないわけであります。そういった時に県民の皆様から求められる行動が我々としてとれるかどうかということ、今回の能登半島の地震について、政府、社会全体で振り返りをする場面がまもなく訪れるというふうに思います。得られる教訓、反省を島根県においても活かしていくということ、そしてより強力な形での対応ができるように我々自身も今までの内容を見直していくといったことも含めて、日本全体が今回の起きた事柄で良かったこと、足らなかったところをきちんと評価して、後者の部分については改善をし、これからの災害対策の強化に活かしていかなければならない年になるかと思えます。

年初から地震がございましたけれども、1年間長うございますので、想定していなかった事柄も発生するかと思えます。そういった事柄に対しましては、島根県庁は大きな組織といえは大きな組織ですが、見方を変えれ

ば大きな三大都府県に比べますとこじんまりとした組織であります。臨機応変に意思決定を早くして、起きる事柄に迅速・的確に対応するには幹部職員の初動が大変重要でございます。

今年1年間予定されていることをきちんと進めていくこと、そして予定していなかった事柄に対しましても、その場その場で最善を尽くしていくということを含めて、今年1年間、幹部の皆さん、部長、次長にはその中心となって頑張ってくださいと思います。今年一年、職員の皆さん方の頑張りによりまして、島根県政が実り多い結果を出し、そして県民の皆さんの生活がこの1年実り多いものになるように取り組んでいくため、ぜひとも今年一年よろしくお願いを申し上げます。

以上で私の年頭の訓示とさせていただきます。

今年一年どうかよろしくお願いをいたします。